## 避難場所一覧

### 指定避難所

指定避難所は指定一般避難所と指定福祉避難所に区分されます。

| 番号 | 名称 | 区分 | 住所 | 番号 | 名称 | 区分 | 住所 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 高鍋町中央公民館 ※2 | 一般 | 上江8113 | 9 | 農業大学校（体育館） | 一般 | 持田5733 |
| 2 | 東児湯消防組合 | | 上江4526 | 10 | 高鍋農業高等学校（体育館） | | 上江1339-2 |
| 3 | 高鍋町防災センター（役場北側駐車場内） | | 上江8437 | 11 | 南蘭食鳥 | | 持田1991 |
| 4 | めいりんの湯 | | 上江6900 | 12 | ホテル四季亭 | | 北高鍋5224 |
| 5 | 高鍋西小学校（体育館） | | 上江1951 | 13 | 高鍋信用金庫 | | 高鍋町673 |
| 6 | 高鍋西中学校（体育館）※1 | | 持田1524-1 | 14 | 高鍋町ふれあい交流センター（福祉避難所） | 福祉 | 上江7785 |
| 7 | 高鍋町スポーツセンター ※2 | | 上江7790 | 15 | 社会福祉法人 晴陽会 うからの里（福祉避難所） | | 上江7778 |
| 8 | 高鍋町体育館 ※2 | | 上江8339 | | | | |

※1 洪水時は、高鍋西中学校（体育館）を除く。 ※2 ペットの同行避難が可能な施設

### 指定緊急避難場所

| 番号 | 名称 | 種類 | 住所 | 収容人数 | 番号 | 名称 | 種類 | 住所 | 収容人数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 高鍋第一庁舎 | 施設 | 北高鍋1376-1 | 171人 | 28 | ロイヤルシティー高鍋 | 施設 | 北高鍋2834-4 | 216人 |
| 2 | 九州電力搬 高鍋営業所 | | 北高鍋3492-4 | 186人 | 29 | 介護老人保健施設なでしこ園 | | 北高鍋3225 | 568人 |
| 3 | 宇都宮ビル | | 蚊口浦25-11 | 110人 | 30 | 町立高鍋東小学校第2棟 | | 北高鍋4600 | 600人 |
| 4 | 町営持田団地A棟 | | 持田3250 | 360人 | 31 | 町立高鍋東小学校第3棟 | | 北高鍋4600 | 800人 |
| 5 | 町営持田団地B棟 | | 持田3158-1 | 83人 | 32 | 町立高鍋西小学校第2棟 | | 上江1951 | 600人 |
| 6 | 県営持田団地1号棟 | | 持田3232 | 498人 | 33 | オッコーコスタ高鍋 | | 蚊口浦9-1 | 341人 |
| 7 | 県営持田団地2号棟 | | 持田3232 | 530人 | 34 | T-MAX高鍋店 立体駐車場 | | 北高鍋801 | 4,134人 |
| 8 | 宮崎県高鍋総合庁舎 | | 北高鍋3870-1 | 371人 | 35 | 梛堀田工務店 | | 北高鍋4720-5 | 201人 |
| 9 | サンフィールド高鍋Ⅱ | | 北高鍋2829 | 43人 | 36 | 県営持田団地3号棟 | | 持田3232 | 420人 |
| 10 | 町立高鍋西中学校第1棟 | | 持田1524 | 600人 | 37 | 町立高鍋東小学校第4棟 | | 北高鍋4600 | 800人 |
| 11 | 県立高鍋高等学校第1棟 | | 北高鍋4262 | 169人 | 38 | 蚊口西の二地区津波避難タワー | | 蚊口浦5171 | 415人 |
| 12 | レジデンスハーモニー | | 上江8030 | 37人 | 39 | 種蒔地区津波避難タワー | | 北高鍋2100-72 | 256人 |
| 13 | レジデンスハーモニーⅡ | | 北高鍋5037 | 25人 | 40 | ももの木こども園 | | 上江1961-3 | 312人 |
| 14 | サンフィールド高鍋 | | 北高鍋3413 | 35人 | 41 | 南蘭食鳥 | | 持田1991 | 397人 |
| 15 | サンフィールド高鍋Ⅲ | | 北高鍋4490-1 | 60人 | 42 | 舞鶴公園 | 場所 | 南高鍋字旧城内 | 49,047人 |
| 16 | 高鍋フェニックスマンション | | 高鍋町825 | 23人 | 43 | 高鍋大師 | | 持田2213 | 4,800人 |
| 17 | グランドステージ | | 上江8482 | 34人 | 44 | 高鍋町スポーツセンター(駐車場) | | 上江7790 | 4,208人 |
| 18 | ビブレコート | | 南高鍋902 | 22人 | 45 | めいりん公園 | | 上江6884-1 他 | 8,202人 |
| 19 | ハピネスコート | | 北高鍋75 | 23人 | 46 | 高鍋温泉めいりんの湯(駐車場) | | 上江6900 | 6,360人 |
| 20 | i-Diamante | | 北高鍋1237 | 22人 | 47 | 東九州自動車道の区域の一部(高鍋IC附近) | | 上江4841-1 | 1,000人 |
| 21 | ブランドール付 | | 上江1868 | 20人 | 48 | 県立高鍋農業高等学校 第二グラウンド | | 上江7822 | 28,000人 |
| 22 | フェリタ舞鶴 | | 上江8258 | 34人 | 49 | 県立高鍋農業高等学校 明倫寮(建物を除く) | | 上江7838-14 | 20,000人 |
| 23 | 恵比須ガーデンⅡ | | 北高鍋2825 | 26人 | 50 | 長法寺農村公園 | | 上江3294-1 | 4,056人 |
| 24 | ホテル泉屋 | | 北高鍋1368-4 | 880人 | 51 | 南高鍋農村広場 | | 南高鍋11342 | 9,160人 |
| 25 | ホテル四季亭 | | 北高鍋5224 | 1,853人 | 52 | 県立高鍋農業高等学校(運動場) | | 上江1339-2 | 12,000人 |
| 26 | 山本マンション | | 蚊口浦14-9 | 27人 | 53 | ママノマルシェTAKANABE(屋外避難所を兼ねる) | | 持田5654-1 | 6,400人 |
| 27 | スカイやまもと | | 蚊口浦16-7 | 34人 | | | | | |

## 津波ハザードマップの使い方

**STEP 1 まず、自宅の位置を確認しましょう。**

災害が想定される位置を確認しましょう。
ご自宅がある場所は、どのような災害が予想されるのかを、地図をみて確認しましょう。

**STEP 2 次に、自宅付近の避難所を確認しましょう。**

自宅に一番近い避難所を地図で確認しましょう。

**STEP 3 災害想定区域を避けて、避難経路を決めましょう。**

避難経路を地図で確認し、津波や土砂災害などの災害が想定される場所を避けて避難できるようにしましょう。

**STEP 4 実際に避難経路を歩いてみて、安全を確認しましょう。**

家庭や地域で話し合いながら、実際に歩いてみましょう。避難経路に危険な場所がある場合には、避難経路を見直しましょう。

## 非常持ち出し品

### ■ 避難するときの持ち物を準備しておきましょう。

□ 懐中電灯　□ 携帯ラジオ、予備乾電池　□ 飲料水　□ 非常食　□ タオル

□ 現金、印鑑、預金通帳　□ くすり、救急セット　□ 衣類、下着類　□ ローソク、マッチ、ライター　□ 身分証明書、保険証コピー

**必要に応じて準備しましょう。**

- □ ちり紙、マスク、カイロ
- □ 使い捨て食器、ラップ類
- □ せっけん
- □ 粉ミルク、哺乳瓶、紙おむつ
- □ ドライシャンプー
- □ 看護用品
- □ ヘルメット
- □ 軍手
- □ 靴、メガネ
- □ ロープ
- □ 家族の写真
- □ ホイッスル

※靴やスリッパ等を、枕元に準備しておくと、避難の際に安全です。

**最低でも3日分、できれば1週間分を目安に備蓄を行いましょう**

非常に広い地域に甚大な被害が及ぶ大災害の場合、食料などの支援物資がすぐに届かないおそれがあります。そのため、ご家庭で非常食などを備えておく事も大切です。
特に津波浸水想定域の外の地域にお住まいの方は、被災後もご自宅で避難生活を送られる可能性が高いため、できれば、1週間分の備蓄を行いましょう。

**家族構成に合わせた準備**

非常持出品・備蓄品は、アレルギー対応の非常食やペットフードなど、家族構成に合わせて必要なものを考えてみましょう。

**ローリングストック法**

非常持出品・備蓄品として保存する非常食を、定期的に消費し、その分を改めて補充することで、「食べながら備蓄する」という方法です。

## 避難時の心得

**1 地震にあったら、まず身の安全！**

地震を感じたらテーブルなどの下に身を伏せ、揺れが収まるのを待ちましょう。
身の安全が確保されたら津波に注意し、急いで海辺から離れましょう。

**2 正しい情報を入手する！**

災害が発生したときにはデマが飛び交いがちです。
噂に惑わされず、テレビ、ラジオや防災行政無線等からの情報に注意し、正しい状況の把握につとめましょう。

**3 警報・注意報が出たらすぐ避難！**

警報・注意報を知ったら、すぐに避難しましょう。地震を感じなくても、津波が襲来することがあります。また、小さい津波でも場所によっては、思わぬ高さに達することがあります。

**4 家を出るときは！**

慌てず、落ち着いて、周囲の確認を。余震によってかわらやガラス、看板が落ちてくる可能性があります。近所にも声をかけて、お年寄りや子供などの避難に協力しましょう。

**5 避難は原則徒歩で！**

避難する時は、やむを得ない場合を除き、徒歩で避難しましょう。車を使うと渋滞を引き起こし、避難や救護に支障をきたします。

**6 海や川に近づかない！**

防波堤や堤防が地震の影響を受けているおそれや、津波が見えない場合があり非常に危険です。
また、津波は川に沿って上流側へ追いかけてくるので、川に対して直角方向に避難しましょう。

**7 解除までは気をゆるめない！**

津波は時間をおいて、繰り返し襲来します。第一波より、第二波、第三波の方が大きくなることがありますので、警報、注意報が解除されるまで注意しましょう。

**8 協力し合って応急救護！**

地震時や避難時に多数の負傷者が出れば、ご近所で助け合い、地域で協力し合って避難しましょう。

宮崎県
# 高鍋町

保存版
平成27年2月作成
平成30年3月修正
令和元年7月修正
令和4年12月修正

# 津波ハザードマップ

※津波注意　TAKANABE Town Tsunami hazard map

- □ 巨大地震最大クラスの津波の状況（想定）
  **震度：7**
- □ 津波の高さ
  **最大：11m**
- □ 津波到達時間
  **最短：20分**

この津波ハザードマップは、津波発生時の避難の目安となるように浸水域、浸水深、指定避難所等を示しています。
津波に備えて、指定避難所や指定緊急避難場所、避難経路を事前に確認しておきましょう。

**家族などの連絡先**

| 名前 | 緊急連絡先（会社・学校） | 住所 | 生年月日 | 血液型 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

| 避難場所 | 離れ離れになったときの家族などの集合場所 |
|---|---|
| | |


高鍋町役場　総務課
〒884-8655 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437番地
電話：0983-26-2022
E-mail：soumu@town.takanabe.lg.jp


VACAN Maps　高鍋町ホームページ

## 地域での備え〈自主防災組織〉

大地震などにより大規模災害が発生すると、火災の同時多発や建物崩壊、道路の寸断、水道管の破損や津波による被害などで防災機関が十分に機能しなくなる可能性が考えられます。こうした事態では、個人や家族だけの力では各地域の被災者、負傷者を助けることは非常に困難となるため、近隣住民、地域ぐるみで一致協力して防災活動を行うことが重要です。
「自分たちの町は自分たちで守る」という基本的な考えにたって、家族や隣近所がお互いに協力し、地域が一体となって防災活動を行うのが自主防災組織です。

### ■ 自主防災組織の活動

自主防災組織の活動には、災害に備えて被害の発生や拡大を未然に防止するため、日常的に行う活動（**平常時の活動**）と、災害が発生した後に地域内で被害の発生や拡大を防止するために行う活動（**災害発生時の活動**）があります。

**平常時の活動**

- □ **防災意識の普及**
  講習会や訓練を通して防災についての正しい知識を身につけましょう。
- □ **地域内の防災環境の確認**
  災害時に備えて、避難路や避難場所の把握、被害が発生しそうな箇所の確認を行いましょう。
- □ **地域でのコミュニケーション**
  地域ぐるみでの交流を深めましょう。また、高齢者や障がい者、妊産婦、乳幼児など、災害時に支援が必要な方の把握を行いましょう。
- □ **防災資機材の点検・整備**
  消火活動、救出・救護、応急手当などに必要な防災資機材を点検・整備しましょう。
- □ **防災訓練の実施**
  日頃から災害に備えて訓練を行い、防災活動に必要な知識・技術を習得しましょう。

**災害発生時の活動**

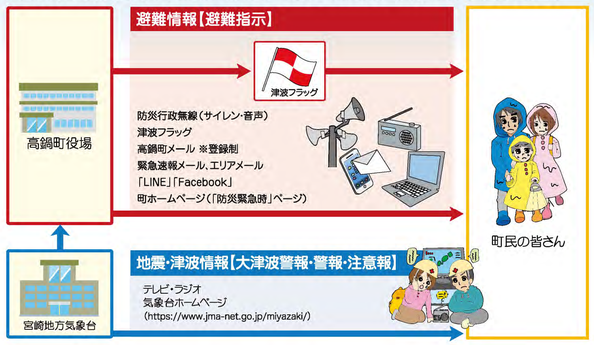
- □ **情報収集伝達**
  災害に関する情報を収集し、地域住民のみなさんへ正しい情報を伝達します。
- □ **火災の消火**
  消火器などによる消火活動を行います。
- □ **避難誘導**
  地域住民の安否確認や避難誘導、避難所の開設などを行います。
- □ **救出・救護**
  被災者の救出・救護を行います。また、高齢者や障がい者などへの支援を行います。
- □ **給食・給水**
  食料品や救護物資などを分配します。また、必要に応じて炊き出しや給水活動を行います。

**防災講習会、防災訓練の実施**

災害が発生した時、私たちの体は思うように動かないものです。いざという時に落ち着いて的確に行動できるよう、日頃から講習会や防災訓練に参加し、防災に関する知識・技術を覚えましょう。

## 津波に関する情報の主な発表・伝達経路

津波の危険性が高まった場合は、町や気象台などから発表される情報に注意し、早めの避難を心がけましょう。避難に関する情報は下の図のような流れで伝達されます。




### 高鍋町メール

個人の携帯電話に、防災・気象情報、防犯情報などを配信します。登録は無料です。
（通信料は利用者負担です）
スマートフォン用URL　：　https://plus.sugumail.com/usr/takanabe/home
ガラケー用URL　：　https://plus.sugumail.com/m/takanabe/home

スマートフォン用QRコード

### 高鍋町防災行政無線 電話応答サービス　☎0983-26-2025

高鍋町の防災行政無線で放送された内容を、電話で確認できます。

- ○放送終了直後から利用できます。
- ○放送された内容は、24時間経過すると再生できません。
- ○24時間放送がなかった場合、「放送はありません」というメッセージが流れます。
- ○電話通話料は自己負担となります。
- ○音楽放送は聞くことができません。

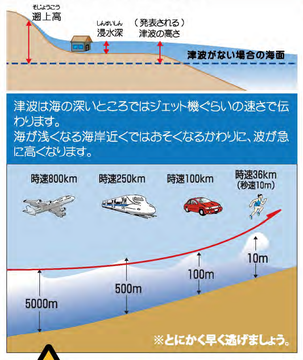
### 災害用伝言ダイヤル　☎171

171 → 録音 1 / 再生 2 → 0XXX XX XXXX → ガイダンスに従って録音・再生を行う → 1# → 伝言の録音・再生

被災地の方はご自宅の電話番号、被災地以外の方は連絡を取りたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

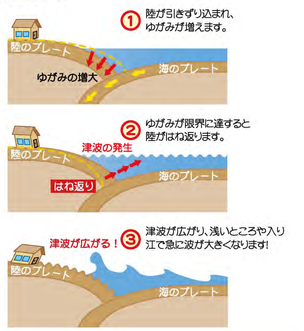
## 津波について

地震が起きて津波のおそれがある場合は、予想される津波の高さにより、「津波注意報」、「津波警報」、「大津波警報」が津波予報区ごとに発表されます。
なお、発表される「津波の高さ」は、海岸付近での海面の高さのため、場所によってはこれよりも数倍高くなることがあります。
また、満潮時や大潮の時も注意点が必要です。




**津波から逃げるために、津波を知ろう！**

津波はとても速く、津波を見てから避難をしていては間に合いません。
強い揺れを感じたり、津波警報を聞いたらとにかく逃げましょう。




## 浸水による高さの目安

## 警報・注意報の種類

### ■ 津波警報と注意報の分類と取るべき行動

| | 予想される津波の高さ | | | とるべき行動 |
|---|---|---|---|---|
| | 高さの区分 | 数値での発表 | 巨大地震の場合の表現 | |
| 大津波警報 | 10m | 10m超 | 巨大 | 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。 |
| | 5m～10m | 10m | | |
| | 3m～5m | 5m | | |
| 津波警報 | 1m～3m | 3m | 高い | |
| 津波注意報 | 20cm～1m | 1m | （表記しない） | 海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。 |

**気象庁が、地震発生してから約3分を目標に、大津波警報、津波警報、津波注意報を発表**

発表される津波の高さについては、沿岸で想定される津波の高さを求めることができる場合、「数値での発表」欄のとおり発表されます。ただし、地震の規模（マグニチュード）が8を超えるような巨大地震の場合、予想される津波の高さを「巨大」や「高い」という言葉で発表して、非常事態であることを伝えます。

**津波警報・注意報のポイント**

- ・震源が陸地に近いと津波警報が津波の襲来に間に合わないことがあります。
- ・津波の高さを「巨大」と予想する「大津波警報」が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。直ちにできる限りの避難をしましょう。

## 津波における避難情報

「大津波警報」、「津波警報」または「津波注意報」が発令された場合は、「避難指示」が発令されます。皆様の安全を守るため、「避難指示」が発令されたら速やかに最寄の指定緊急避難場所に避難して下さい。

| 避難情報 | 住民の行動 |
|---|---|
| 避難指示 | 直ちに避難行動に移るとともに、そのいとまがない場合は生命を守る最低限の行動をとる。 |